

神津島の火山活動解説資料（平成 27 年 6 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図2）

前浜南東遠望カメラ（天上山の南西約3 km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図3-①②、図4）

神津島付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しています。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図1、図3-③～⑤）

GNSS^{注)}連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

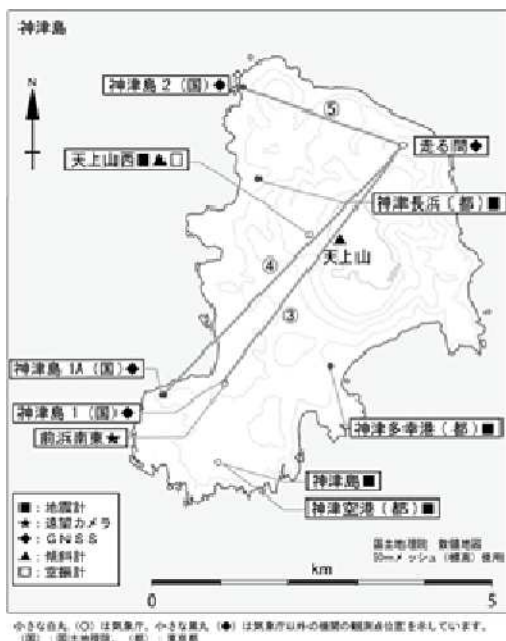


図2 神津島 天上山山頂部の状況
(6月4日、前浜南東遠望カメラによる)

図1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線③～⑤は図3の③～⑤に対応しています。
神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成27年7月分)は平成27年8月10日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】		
A 型地震	2010 年 10 月 1 日（観測開始）～	天上山西から半径 5 km、深さ 15 km 以内
BH 型地震	2010 年 8 月 2 日～2013 年 9 月 30 日	天上山西振幅 0.8 $\mu\text{m/s}$ 以上
変更	2013 年 10 月 1 日～	天上山西振幅 4.0 $\mu\text{m/s}$ 以上

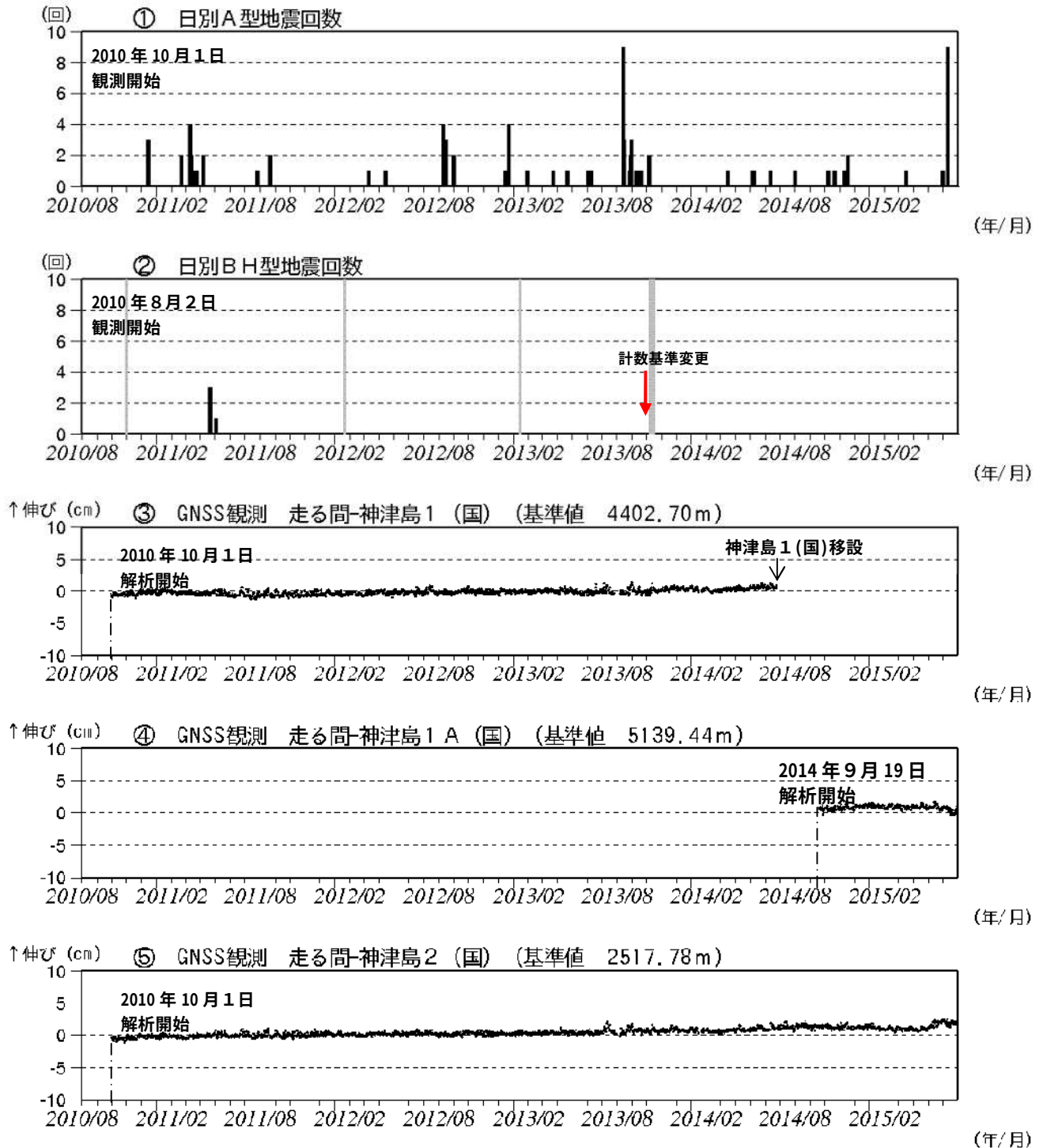


図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2015年6月30日)

- ①②神津島周辺の日別地震回数
 - ・図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ③～⑤GNSS連続観測による基線長変化 (国)：国土地理院
 - ・③～⑤は図1のGNSS基線③～⑤に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を示します。
 - ・神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設。

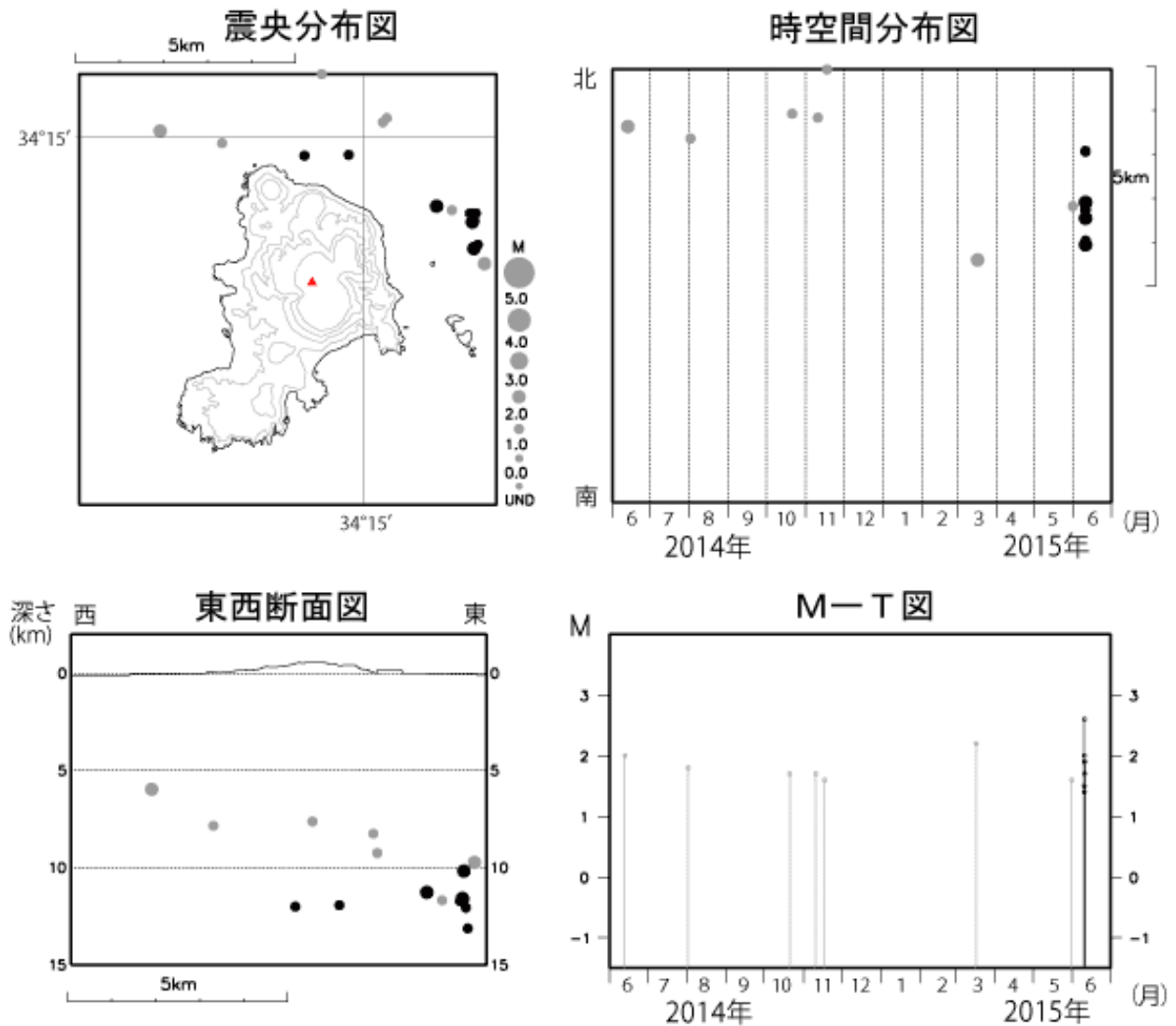


図4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2014 年 6 月 1 日～2015 年 6 月 30 日）

●：2014 年 6 月 1 日～2015 年 5 月 31 日 ●：2015 年 6 月 1 日～6 月 30 日

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。